

報告：原発問題をめぐる全体状況（3月）

@第106回脱原発八千代ネットワーク定例会

2022年3月26日 川井康郎

1. フクシマの状況

- (1) 3/11 東日本大震災・東電福島事故から11年、今も福島県民33,360人が避難生活を送っている（自主避難者は含まず）。除染、補償、汚染水問題等の解決の見通しは立たない。廃炉作業について更田規制委員長は「終了時期を見通すことは不可能」と発言。一方、政府・東電は残る29年となった廃炉完了時期（ロードマップによる）の見直しは行っていない。あまりにも無責任！
- (2) 3/4 最高裁は国と東電の上告を却下し、福島、群馬、千葉への避難者3600人へ総額13億9千万円の賠償（区域毎の上乗せあり）が確定した。一方、国の責任をめぐっては引き続き審理が続行。
- (3) 3/16 深夜の最大深度6強の地震による福島第一原発の被害
 - ・2号機使用済み燃料プールの冷却が7.5時間ストップ
 - ・汚染水保管タンク計160基が位置づれを起こした
 - ・固形廃棄物コンテナ6基が転倒なお、福島第二、女川原発においても一時的にプール冷却が中断した。

2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 現在稼働中の原発は大飯③、高浜④、伊方③、玄海④、川内①の5基。
玄海③、川内②、大飯④、高浜③は定期検査中。
- (2) 3/18 伊方3号機の一次冷却水中に通常の3倍の放射性ヨウ素を検知。燃料被覆管がピンホール破損したものと考えられる。四電は監視を強めながら運転を継続と。

3. その他のトピック

- (1) 2/24 ロシア軍がウクライナに大規模侵攻。
チェルノブイリ（廃止措置中）、ザポリージャ原発（稼働中）を占拠。
⇒詳細は別紙参照
- (2) 3/10 自民党の「電力安定供給推進議連」は燃料費高騰に伴う電気料金の上昇対策として原発の稼働拡大を求める決議を採択～ウクライナ危機に便乗する火事場ドロボー！
- (3) 3/16 自民党の安全保障調査会は「核保有」に関する勉強会を開催。「核配備基地が攻撃対象となる恐れが高い」「非核三原則は堅持すべき」等により「日本には馴染まない」との結論



<以上>